

死亡事故続発 国道240号の正面衝突防げ！

釧路開建、中央線に溝掘り対策

運転者に注意を呼びかけている

「国道240号は単調な道で漫然と運転してしまう危険がある。常に運転に集中してほしい」

2016/09/03 07:00

国道240号で死亡交通事故が相次いでいる。昨年からこれまでに5件発生し、うち4件が正面衝突だ。

8月6日には釧路市阿寒町下舌辛の国道240号で正面衝突事故が起き、2人が死亡。

国道を管理する釧路開発建設部は事故現場周辺のセンターラインに溝を付けて対向車線へのはみ出しを防ぐ工事を行った。釧路署も運転者に注意を呼びかけている。

8月6日の事故は午後1時5分ごろに発生。無職女性（74）の運転する軽自動車に対向車線にはみ出し、タンクローリーと正面衝突。女性と後部座席にいた孫の男児（10）が死亡した。釧路署によると、軽自動車は緩い右カーブを走行中に対向車線へはみ出し、その後の直線道路で正面衝突した。はみ出した原因は不明だが、ブレーキを踏んだ形跡はなかったという。

事故を受けて釧路開建釧路道路事務所は8月19日、現場周辺の計430メートルの区間で、センターラインに「ランブルストリップス」と呼ばれる溝を掘った。

深さ15ミリのかまぼこ形の溝を一定間隔で掘り、対向車線にはみ出しそうになった時、音と振動で運転手へ伝える仕組みだ。同事務所の工務課長は「国道240号は道東道阿寒インターチェンジ開通後に交通量が増え、注視している道路。死亡率が高い正面衝突を防ぐのにランブルストリップスは有効だと思う」と話す。

国道240号は交通事故の比較的多い道路だが、正面衝突での死亡事故が目立つ。

昨年は2件の死亡事故がともに正面衝突。今年は3件のうち2件が正面衝突だった。

大型車の通行も多く、居眠りやハンドル操作の誤りは死亡事故につながりやすい。

釧路署管内の今年の交通事故死亡者は9人だが、国道240号での死者は4人を占めており、警察は8月下旬から、国道240号でのスピード違反の取り締まりなどを強化した。

釧路署の交通官は「国道240号は単調な道で漫然と運転してしまう危険がある。常に運転に集中してほしい」と話している。